

本スライドは、当日のセミナー資料から一部を抜粋したものです。

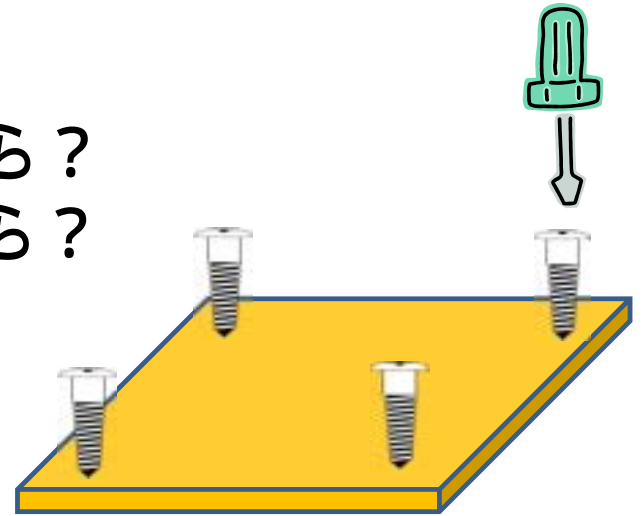
開発現場へのソフトウェア工学の導入 - 開発プロセスと品質定量化の試み

2011.11.16

日本大学 理工学部
平山雅之

なぜ組み込みソフトウェア開発はうまくいかない

最新のツールを導入していないから？
優秀な技術者をそろえていないから？



最新の電動ドライバーを用意しても。。。
作業の基本がわかっていないと

優秀な技術者だけでプロジェクトは組織できない

- 誰がやってもできるように作業手順を整備する
- 誰がやっても誤りや不良を把握できるようにする

組み込みソフトウェア開発プロセスのポイント

ハードウェア開発との摺り合せ

- ハードウェアとのインタフェース
- 実装の実時間制約の扱い

品質作りこみのタイミングと方法

- レビュー & インスペクション
- テストと検証

ドキュメンテーション

- 設計ドキュメントの記載内容と確認
- 開発で利用する設計手法などとの整合性

← 現場のノウハウとして実践



- ノウハウを知識として共有化
- 知識を開発現場で実践へ

品質コントロールをするために考えるべきこと

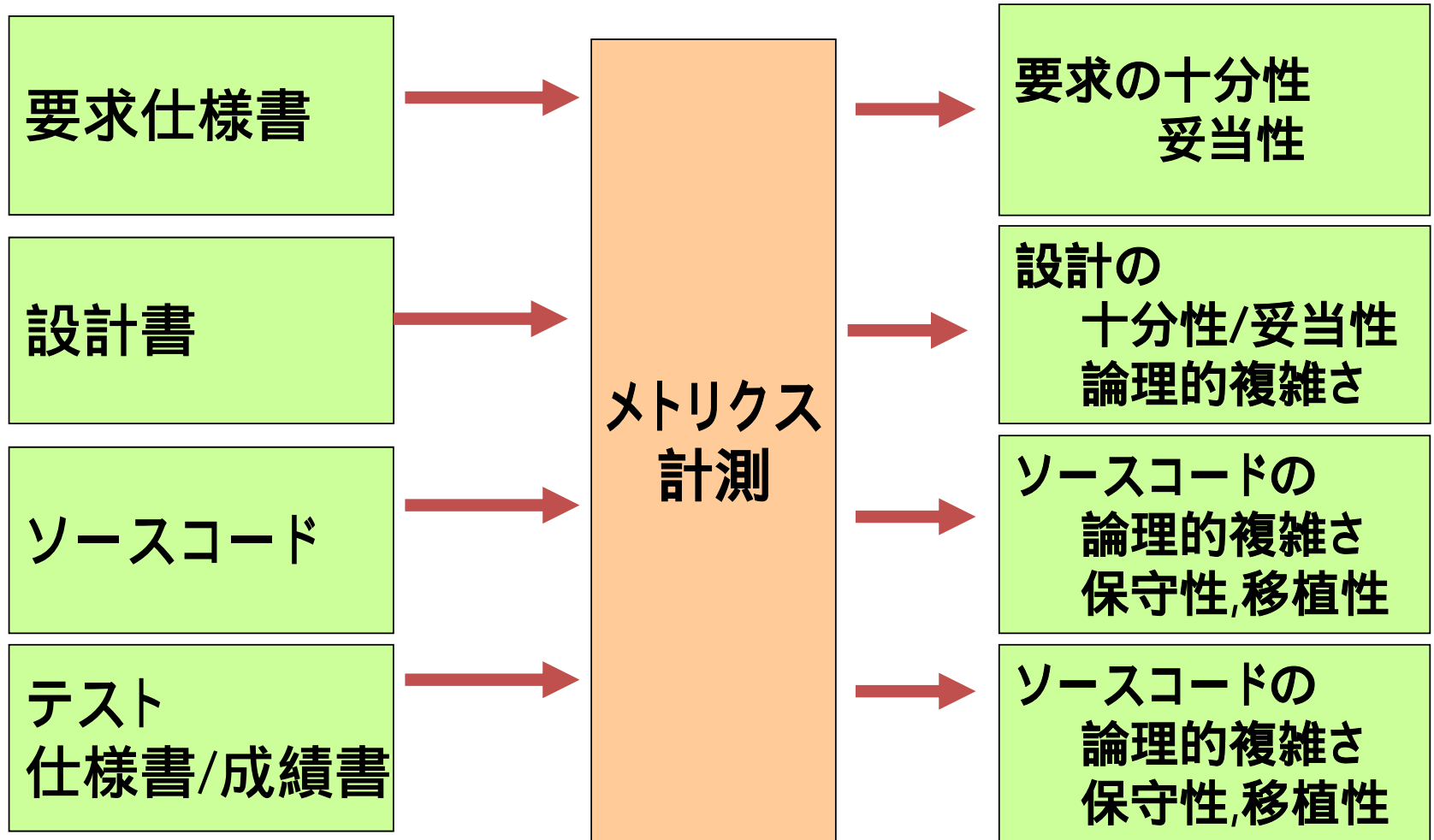
ソフトウェアにどの程度の品質が求められているかを考える

開発の中のどのタイミングでどのような指標で品質をとらえるかを考える

個々の指標の目標値を決める

目標値を下回った場合にどのような対策をとるか考え、実行する

プロダクトの定量化



設計レビューの評価

表面的な指標

レビュー時間・レビュー工数

レビュー指摘数

レビュー参加者数



レビュー時間が多ければよいのか？

レビュー指摘項目が多ければよいのか？

多くの人数がレビューに参加すればよいのか？